

らぶれた

2022年
7月号
vol.85

発行：株式会社ラプロス
発行人：代表取締役 樋口 繁樹
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目12番1号
日之出福岡ビル5階
TEL 092-737-2211
FAX 092-737-2212
弊社のHPは下記URLより
ご覧いただけます。
<http://www.lapros.co.jp/>
編集担当：渡辺、中村、藤吉

暑い日々が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？ 3年ぶりの山笠の開催等、ここ数年中止を余儀なくされていた夏の風物詩も復活し、少しずつ例年通りの夏に戻りつつあります。今年の夏は平年よりも暑く、残暑も厳しくなるようなので熱中症に十分気を付けて、こまめな水分補給を忘れずに一日一日を楽しんで過ごしていきましょう。



真鴨を囲むコミュニティ

久しぶりにわが家近くのウォーキングコース、平尾新池の真鴨のおはなしです。

今年の春は、真鴨カップルは一時は最大5組くらいいたのですが（数えながら歩いてます…）、小鴨を育てる環境ではない！ミドリガメやカラスや野良猫などの強敵がいる！と産み育てる場所を引越したのかどうか、うち2組のカップルからだけ雛鳥が誕生しました。

ツクシオオガヤツリの草むらの中で孵化した後に、コソコソと茂みから顔を見せたのがGWのとある一日。雛鳥は片や1羽、片や12羽でした。さて、今年は何羽飛べるようになるまで生存競争を勝ち抜くのか〜！毎朝数えながら歩いていきます。最初の数日で1羽の雛鳥の方は姿が見えなくなり、12羽の雛鳥の方は11→9→7→5と数が減ってきました。厳しい生存競争の世界ですよ、ホント。

午前6時台のウォーキング or ジョギング or 犬のお散歩グループ？は皆、真鴨を愛する方たちで、おはようございます〜！から挨拶が始まり『昨日まで8羽だったのに1羽カメにやられたよ〜』とか『この5羽は誕生日が5月1日だからもう1ヶ月になる、もう少し頑張れば飛べるようになるから何とか生き延びてほしいね〜』などと、パンとか餌をやりながら口々に最新情報（真偽のほどは？ですが）を口にしながら立ち話をしては、またコースに戻ります。

圧巻は小学校高学年の子。最初12羽を発見したのは僕です！と言ったわけではありませんが、毎日朝観察して最初からの数の減り方を的確に把握しています。この調子でいくと、岡山県でセミの生態を調べて《セミの寿命1週間》の定説を覆したことで3年前に新聞誌上を賑わした高校生博士くらいになれ

るかも。頑張れ！西高宮小の君！

そんな感じがこの池周辺の住民のコミュニティの中心に真鴨の親子、雛鳥たちがドンと座る時季なんですよ。



↑ 右の写真の母鴨に見守られている子鴨たち



↑ 左の写真の子鴨たちを対岸から見守る母鴨

写真は親離れして自立した頃に撮ったものです。排水調整の小さなプールの中が安全とばかりに雛鳥たちが苔などを食べているところ。池から降りてきても、上がる時に苦労するので、町内の真鴨を愛するどなたかが煉瓦などでステップを作ったのだそうです。もう一つはそれを対岸から見守る母鴨。自分たちでしっかり生きていくんだよ〜とエールを送っているのだと思います。（たぶん…。）

ちなみに、ツクシオオガヤツリは天然記念物で明治39年に福岡城跡のお堀で発見され、今も福岡城跡のお堀のみに生息する、と言われていますが、西高宮小学校の近くの平尾新池にも立派に生息しております。



代表取締役 樋口 繁樹

天神さんぽ



文：渡辺

ここ最近私が日課にしていることがあります。それは朝出社する前に散歩をすることです。

昨年引っ越しをしてから天神の事務所までバス通勤になったのですが、バスは何せ時間が読めないため、時間に余裕を持って早めの便で通勤しています。

4月のある晴れた日、例によってその日も朝早く天神に到着しそうでした。その日はコートがいらぬほど陽射しが暖かく、だけど風は少し冷んやりしていて過ごしやすい朝でした。ちょっと歩こうかな、ふとそう思っ一つ前のバス停でバスを降りました。

天神方面に向かうには橋を渡るのですが、その橋は歩道が広く開放的で、朝の陽の光が川の水面を照らしてキラキラ煌めいていました。朝の通勤ラッシュで満員だったバスの中とは真逆の雰囲気、すがすがしい気持ちになりました。

その日から私は朝散歩にハマリ、明日もここを歩きたいな、明日はどこを歩こうかな、と毎日楽しくなってきました。20分程度の短い時間ですが、朝の出社前の貴重な時間を散歩に充てるというのがとても贅沢に感じられ、

充足感を感じます。

朝散歩の魅力に気づいたのは4月に入ってからでしたが、今年は桜が満開になるのが遅かったので花見散歩もできました。アクロス福岡の南にある天神中央公園とその川沿いは天神で桜が見られる所として知られていますが、もちろんそこも何度も散歩をしました。



桜が散ると次は新緑の季節。緑豊かな公園は、そこが天神のど真ん中だということを忘れさせます。

私の出社前の朝散歩お気に入りコースはこちら。



↑ 西鉄イン福岡の川沿いの歩道

「博多五町」のバス停でバスを降り昭和通りを天神方面へ。開放感のある橋を二つ渡り、西鉄

イン福岡の川沿いの歩道を歩きます。横断歩道を渡ったら、今度はアクロス福岡のこれまた川沿いの歩道を歩き、天神中央公園へ入ります。公園内を一周したら、アクロス福岡の中を歩いて明治通りに出ます。

日によっては、旧福岡県公会堂貴賓館がある広場を歩くことも。こちらは都市の公園といった感じです。明治通りに出たら散歩は終わり。会社までのあとの百数十メートルは気持ちを切り替えて向かいます。

↓ 天神中央公園の新緑



↑ 旧福岡県公会堂貴賓館

私がこの朝散歩で大事にしていることが3つあります。

その1、歩いている間は考え事をしない。出勤途中だからといって「今日はあれしてこれして、何時に現場に行って…」と一日の予定を考えたり、「昨日は〇〇で失敗したから今日はがんばらないと…」と頭を悩ませたりせ

ず頭の中を“無”にして脳を休ませるイメージです。

その2、一人で歩く。誰かとぺちゃくちゃしゃべったり電話で話しながら歩くようなことはしません。

その3、自然を感じる。日光を浴びる、風にあたる、昨日の夜中に雨が降ったからか少し冷んやりするなあ、今日はこの時間から陽射しが強くて暑いなあ、太陽の光に水面が照らされてきらきらしてるなあ、ここの木陰は涼しいなあ、など。自然の中にいて癒されるのは、一定のようで実際は不規則なゆらぎを感じることで人は癒されるそうです。朝散歩をしている時はストレスが洗い流され心と体が健康になっていく気がします。

このらぶれた一の編集が終盤に差し掛かった頃、全国的に史上最も早い梅雨明けが発表されました。九州北部は平年より21日も早かったそうです。これから本格的な夏の日差しが降り注ぐ日が続きます。危険な暑さは避け、熱中症には十分に気をつけなければなりません。日傘を差して冷たい飲みも水分補給をしながら、たまには日陰で涼めるような新たな朝散歩コースを見つけないと思います。

福岡銀行本店テラスに咲いていた紫陽花の花。日照り続きだったためわずかな期間しか見られませんでした(T_T)



免許皆伝

MENKYOKAIDEN

その64

『地を固める』の巻

私アラキの戸建てへの思いをつらねるこのコーナー、今回で64号となりました。今年の梅雨入りは遅かったそうですね。雨は生活には欠かせませんが、雨降りはやはりうとうしいです。雨降って地固まるとなりますよう、今回は地盤のお話。

家を建てる土地は、やはり地盤がしっかりしているほうが良いのですが、地盤が弱いところもあります。以前は田んぼだったところを埋めた、近くに川や水路がある、以前は湿地帯だった、周囲の土地や道路と高低差がある、造成してできた宅地などは要注意です。土地を買う前に周りの様子をよく確認しておくことが大切です。

けれども、地盤が弱いところに家を建てられないのかというと、そうではありません。地下の深くには、建物の重さに耐えられる強固な地層＝支持地盤があります。地表から支持地盤までの間に建物の重さに耐えられない地層があると、その部分で土が沈下してしまい、建物が沈んだり、傾いたりしてしまいますので、地盤の状態を調べる必要があります。

まずは、地盤調査をします。敷地に建物の形状を正確に表すために。建物の角になる部分に杭を立てて、糸を張るのですが、これを「縄張り」と言います。

さらに建物の中心となる位置にも印をつけます。地盤調査は建物の四隅と中心の5箇所で行います。

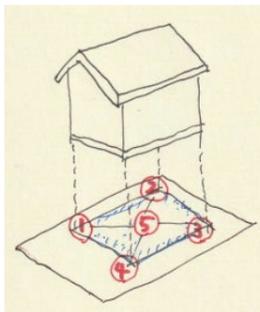
代表的なのは、SWS試験（スクリーウエイト貫入試験）です。以前はスウェーデン式サウンディング試験と呼ばれていましたが、一昨年のJIS改正によってSWS試験と名称が変更されました。重りを載せた鉄の棒を地面に刺し、少しずつ回転させて沈下させます。一定の深さを沈下させるのに何回転するかによって地盤の硬さを判定するという原始的な方法ですが、目に見えない地下の地層を鉄の棒を刺して手探りで確認するという合理的な方法なのです。

この他に、表層波探査法という、地面に振動を与え地中に伝わる振動波の速度を計測することで地盤の状態を調べるという方法もあります。SWS試験と表層波試験のどちらが良いというものではなく、ラプロスでは、調査会社の手配によってどちらも利用しています。

もし地盤調査の結果、地盤が弱いと判定されたときどうするのが気になりますね。

木造2階建ての住宅の場合、設計上の必要地耐力は20kN/m²以上です。つまり、1平方メートルあたり約2トンの重さに耐えられれば良いということです。1メートルの正方形の中に軽自動車2台分の重さがかかるという想定ですね。

比較的浅い部分の地層が弱いときは、床付け転圧といって機械で地面を何度もたたき、締め固めるという方法と、建物の基礎にベタ基礎を採用することでクリアします。ベタ基礎は今では当たり前

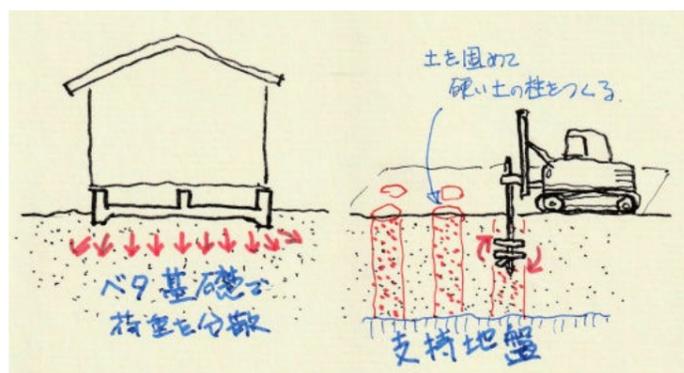


なっていますが建物全体に建物の重量を分散させることで1平方メートルあたりの建物の重さを軽くするという方法です。前回、擁壁の話を書きましたが、擁壁を造る際に土を埋め戻すときにも、一定の深さごとに機械で転圧をしながら埋めていきます。

やや深いところまで耐力が弱いときには、支持地盤までの土を掘り、地盤改良材を土に混ぜて固めるという方法を行います。さらに深いときには、大きなドリルのような機械を使って一定間隔で地面を掘り、地盤改良材を混ぜて攪拌し、硬い土の柱を家の重さを支えるのに必要な本数を造るという方法を行います。これら以外にも地盤を固める方法がありますが、どの方法でも、地下の地層の一部が弱いので、その部分を固めることで将来的に安心できる硬い地盤を造るわけです。

このような地盤調査は建物を建築する際には義務付けられています。地盤調査によって建物に耐えられと判定されたとき、または、地盤の補強や改良が必要であると判断されたときには、その工事の後、万一、建物が傾いたりしたときに備え、地盤保証会社に地盤10年保証をつけてもらっています。

ちゃんと調べて、確実に工事して、きちんとした保証をつけることで、安心していただければと思います。



中村の

おすすめの〇〇

～ 私の地元周辺グルメ～

前号から始まりました、おすすめの〇〇コーナー。今回は私の地元である久留米周辺のおすすめのお店を紹介したいと思います。

1つ目は、久留米市日吉町にあるチーズケーキのお店「BOUTONNIERE (ブートニエール)」です。早めの時間に行かないと売り切れてしまう可能性が高いので、もし行かれるときは開店時間に合わせて行かれた方がいいかもしれません。私はブートニエールチーズケーキ(プレーン)と、ピスタチオチーズケーキ、ほうじ茶アーモンドチーズケーキを食べたことが

ありますが、どれも凄くおいしかったです！本当はホワイトショコラズベリーチーズケーキも食べたかったのですが、私がお店に行ったときにはすでに売り切れていました・・・。また今度リベンジしたいと思っています。(お盆休みも



↑ほうじ茶アーモンド
チーズケーキとプレーン
チーズケーキです

お店が営業していることを祈っています)

2つ目は、久留米のお店ではないのですが、地元周辺のお店ということで・・・筑後市の「タマスタ (正式名称はタマホームスタジアム筑後と言うそうです)」の近くにある、スープカ

レーのお店「ジャングルスープカレー」です。

元々スープカレーにはあまり興味がなく、カレーはサラサラよりもトロトロ(?)派で、初めて行ったときは恐る恐るでしたが、そんな私でもおいしくいただけだったので、トロトロ派の方にもぜひ試してみてください。トッピングもいろいろ選ぶことができ、スパイスも効いていて本格的な味です。辛さが選べるのはもちろん、野菜がたくさんあってボリュームもあります。苦手な野菜があっても、他の野菜に変えてもらうことができるので、嫌いな野菜がある方も安心です。私はいつもニンジンを別の野菜に変えてもらっています(;^_^)



因みにホークスの選手たちもお店に来ることがあるみたいですが、残念ながら私はまだ遭遇したことがありません(笑)

近くにあるタマスタはホークスの選手たちを近くで見ることができておすすめなので、ジャングルスープカレーへ行かれる際はぜひタマスタにも行ってみてください！

他にも気になっていてまだ行けていないお店(ずっと気になっていたのは餃子屋さんの「娘々」です)がたくさんあるので、引き続きおいしいお店を開拓していきたいと思っています。



↑写真は数年前のタマスタレディースデーのときの板東選手のサインです

ご紹介キャンペーン

ご家族・ご友人をご紹介ください！

5 商品券

万円分

ご紹介者さまにプレゼント！

※ご紹介者さまからの紹介でご成約に至った場合

新築戸建「プロスペリテ」
ホームページはこちら



Instagramは
こちらから



らぶれたーのご意見・ご感想を
お聞かせください！

ラプロスの広報誌「らぶれたー」は2008年12月に創刊し、今号で85号となります。ここまで発行を続けることができたのも、温かく見守っていただき、時にご意見やご感想をいただく皆さまのおかげです。今後もより一層の向上を目指しています。皆さまのご意見・ご感想をぜひお聞かせください！FAX・メール・おハガキにて受付中です。

よろしくお願ひします



TEL : 092-737-2211
FAX : 092-737-2212
MAIL : info@lapros.co.jp
「らぶれたー」まで

編・集・後・記

文：藤吉



「入社前朝散歩」の渡辺とは逆で、私は毎日歩いて帰宅しています。きっかけは3月に受診した健康診断の結果が、要精密検査のFレベルだったこと。結果表の数値はいくつかの項目について基準値から大きくはずれていました。何とかしなければ...です。無理なくできること、それを継続できること。「帰りは歩く」と決めて、翌日よりスタート。約3ヶ月半経った今では、食事と運動(どちらも大事)の効果で数値は正常に。また、毎日ルートを変えて歩くことで季節の花(一人一花運動の企業の花壇も)や、木々の緑にも気づきます。建設中のビルも多く、天神ビックバンによって日々変化していく街並み。新たな天神が楽しみです。